

永久歯が少ない

永久歯が生えかわる時期になっても一部の歯が生えてこない、そんな先天性欠如歯の人は珍しいわけではなく、形成異常の一つで病気ではありません。しかしあまり永久歯の数が足りない、噛み合わせやあごの成長などに影響が出ることもあります。

日本小児歯科学会の調査によると、七歳以上の子供1万5544人のうち、約1割にあたる1568人は永久歯が1本以上足りないようです。前から二番目と五番目が足りない場合が多く、乳歯が足りない子供も0・5%程度います。日本大学歯学部歯科矯正科の田村隆彦診療准教授によると、「先天性欠如歯は遺伝的要因が主だが、発熱や服薬など何ら

かの原因により形成が阻害されるとも考えられる」とのこと。また、「最近では、1〜2本足りないというレベルではなく、6本以上足りない人も見受けられる。放置しておくと、歯の間に隙間が空くことに加え、対合歯の異常萌出や、噛み合わせが深くなることで顎関節症に繋がる可能性もある」そうです。

乳歯が永久歯に生えかわる時期は6〜12歳。先天性欠如歯は、本人や家族が気づかないことも多く、虫歯の治療の際のレントゲン撮影で見られることもしばしばあります。6本以上足りない深刻なケースでは矯正治療の後、ブリッジやインプラントなどの治療も必要になる場合もあります。

詳しくはかかりつけの歯科医院にお気軽にご相談ください。

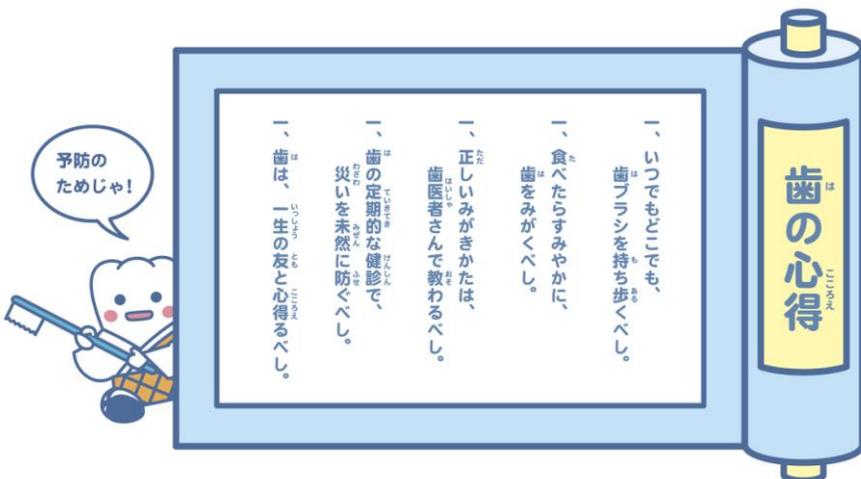
宇宙飛行士と虫歯

虫歯があると宇宙飛行士になれないって、ほんと？

宇宙で船外活動をする時宇宙服の中は約0.3気圧に減圧されます。減圧環境で作業する宇宙飛行士の歯にも虫歯があると空気が膨張して歯を内側から圧迫するため猛烈な痛みが生じて最悪の場合歯が破裂する危険もあるそうです。

ただし完璧に治療していれば問題はありません。

同様の理由で減圧環境にさらされる戦闘機のパイロットも虫歯を完全に治療しないと操縦することはできないそうです。



牛久市歯科医師会は1986年6月の牛久市市政施行と同時に当時の茎崎町と分離発足しました。現在36歯科医療施設の管理者で構成されており、日々の歯科診療の他牛久市との委託契約により成人歯周疾患検診や学校検診、1歳半・3歳児検診をはじめとして牛久市民の皆様に様々な医療サービスを提供しています。